

B-ISDN(広帯域ISDN)

Broadband aspects of Integrated Services Digital Network

B-ISDNは、ISDNの広帯域版であり1.5Mbpsを超える通信速度サービスを提供するものである。B-ISDNの研究はITU-Tを中心に1980年代中頃から進められ、NTTは議長やラポータなどを数多く派遣し、多くの重要な提案を行ってきた。1993年にはCCITT総会においてATMレイヤおよびトラフィック制御など、B-ISDN実現のための詳細原則が標準化された。

STMとATMの比較 Comparison of STM and ATM

STM(Synchronous Transfer Mode : 同期多重モード)



フレーム内のタイムスロットの位置によりパス、チャンネルを識別(時間位置多重)
情報は125 μ sフレームごとに周期的に伝達される
伝達速度は一定

ATM(Asynchronous Transfer Mode : 非同期多重モード)



各ATMセルのヘッダによりパス(バーチャルパス)、チャンネル(バーチャルチャンネル)を識別(ラベル多重)
各ATMセルのインフォメーションフィールドによりユーザ情報を伝達
情報量に応じてセルは非周期的に伝達される
伝達速度は可変

